



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



ランプを寄贈していただきました ～学習に役立てていきます～

4年生の保護者様から、「ランプ」を寄贈していただきました。「こどもたちの学習の役立ててください」として家に保管されていたものをわざわざ持参してくださいました。とっても保存状態がよく新品同様ではと見違えるほどです。

今後は、各学年の学習の中で昔の生活を学んだりするときに活用させていただきます。また、国語の物語の学習の中で情景を思い起こす手がかりとしても活用できるのではないかと考えています。本当にありがとうございました。

(※寄贈していただいた方にお名前を紹介する事への許可をいただくのを失念していました。今回は名前を伏せさせていただきます。大変申し訳ありません。)

ちょっといい話 ～「気づき」「考え」「実行する」子ども～

14日朝、地域の方からお電話をいただきました。「とても感動したことがあったので、校長にも知ってほしくて……」という始まりでした。

出来事の概要はこんなお話でした。

「今日は燃えるごみの収集日でした。地域でなかなか、きちんとゴミ出しのルールが守られず、カラスなどがごみを散らかしてしまうことがよくあるのです。実は今日も随分とゴミが散らかっていました。地域の方が見かねてその散らかったゴミを一人で片付けていました。すると、ちょっと離れた場所で集団登校の出発を待っていた北小の5年生の男の子がさっとやってきて一緒にゴミを片付けてくれたのです。『集団登校でしょ。学校に遅れる方大丈夫だよ。』と言って、作業を断りましたが、その子は『大丈夫です』と言って片付けを続けてくれたのです。」

「あまりに感動したものだから……」と電話をくださった方はお話しをしてくださいました。その後、5年生の男の子本人にも確かめてきました。事実でした。その子は偉ぶった様子も見せず、「ちょっと学校に着くのが遅れちゃいましたけど……」と普段通りお話しをしてくれました。学級全体にもその話をし、大きな拍手を受けていました。

北小は現在、青少年赤十字研究推進校として「気づき、考え、実行する子どもの育成」にむけて取り組んでいます。この子の行為はまさに「気づき、考え、実行する」ことそのもの。主体的な行動そのものです。様々な行動は、まわりの人からの評価でさらに強化されます。いいことは「いいことだね。ありがとう」と言われれば次もやろうという意欲につながります。是非、子どもたちの「いいなと感じた行動」を見たときには、どうぞ思いを伝えてください。



picta.jp - 1153947

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）

----- 切り取り線 -----